稟　議　書

|  |  |
| --- | --- |
| 起案日 | 20●●年●●月●●日 |
| 決裁希望日 | 20●●年●●月●●日 |

|  |  |
| --- | --- |
| 所属 | 人事部 |
| 氏名 | ●●　●● |

|  |  |
| --- | --- |
| 件名 | 課長職向けリーダーシップ研修（集合研修）ご承認のお願い |
| 内容 | 課長職全員を対象とした2日間のリーダーシップ研修（集合研修）の内容を見直し、今年度以降は以下の内容で実施したく、承認をお願いいたします。**・見直しの背景：**リモートワーク導入で業務環境が変わり、これまでとは異なるリーダーシップが必要になっているとともに、組織再編によって課長職が部門を超えた協働をリードすることが求められているため**・研修概要：**当社のリーダーとしての役割や取るべき行動、ビジョンを浸透させる重要性を理解し、内省したうえで今後のアクションを明確にする。自身の言動や意識を振り返る内容もあるため、eラーニングなど他の研修形式ではなく、対話がしやすい集合研修が最適と判断。**・研修会社：**当社の課題を踏まえた研修を設計し、講師の質が高い●●社を採用することを想定**・費用：**●●万円（２日間×●クラス）これまでの課長職研修に比べ●●万円増加しますが、当社の現状と今後の戦略実現に向けて必要な投資と考えます。**・懸念点とその対応：**新たな研修を実施する目的を理解してから研修に参加できるよう、受講者本人だけでなく上長である部長層へも人事部から研修実施の説明を行い、現場での1on1でも研修へ参加する心構えを醸成します。 |
| 添付資料 | ●●社による提案書 |
| 備考 | ・実施時期：20●●年●●月〜●●月の期間で、全●回を予定（繁忙期を避けるよう考慮）・場所：本社会議室 |

|  |  |
| --- | --- |
| 最終承認者 |  |
| 決済日 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 承認者1 | 承認者2 | 承認者3 |
|  |  |  |

稟議書の企画シート（例文）

稟議書を書く前に、企画の内容を整理しておきましょう。

## 研修の概要

|  |  |
| --- | --- |
| **実施時期** | 20●●年●●月●●日、●●月●●日（２日間） |
| **対象層** | 課長層（●●名） |
| **研修テーマ（形態）** | リーダーシップ研修（集合研修） |
| **背景（組織開発上の課題）** | ・リモートワーク化でマネジメントの難しさが増す中、組織再編における他部門との協働の重要性も増している・これまでとは異なるリーダーシップが求められている |
| **現状の人材課題** | ・上位層からの指示を自分の言葉で語ることができていない・モートワーク導入で業務環境が変わり、自社内・職場内のコミュニケーションが複雑になっている・リーダーシップは個人の力量に任されている状況 |
| **本研修の目的（期待する効果）** | ・リーダーの基本役割・行動を理解してもらう・ビジョンを語る重要性の理解と自分自身の言動への内省 |
| **研修後の受講者の状態** | ・自身のリーダー行動の改善点と今後のアクションが明確になっている・ビジョン・ゴールを設定し、リーダー自身の言葉でメンバーに伝えることができている |
| **費用** | ２日間の受講で●●万円 |
| **懸念点と対策** | ・【懸念①】受講者が研修へ参加する意欲を持てない⇒【対策】研修の目的を参加者にしっかり伝える場を設ける・【懸念②】受講者の上司から、業務に支障が出ることへの懸念の声が出る⇒【対策】繁忙期を避けて研修を実施する |

## 研修実施までのスケジュール

・企画（情報収集、社内事前確認）：　　月　　日　〜　　月　　日

・稟議　　　　　　　　　　　　 ：　　月　　日　〜　　月　　日

・研修実施　　　　　　　　　　 ：　　月　　日　〜　　月　　日

## その他

・費用の詳細

・実施までのプロセス

・課題を解決する選択肢をどのような軸で比較検討し、この施策を選んだのかなど

例）施策の比較検討

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **集合研修** | **公開研修** | **eラーニング** | **社内研修** |
| **メリット** | 質の高い講師。自社の課題を踏まえた研修設計のサポートがある | 一般的な知識ノウハウを習得できる | 社員が自分の好きな時間、スキマ時間に受講できる | 社内状況に合わせて柔軟に設計できる |
| **デメリット** | 実施までに時間がかかる | 自社なりにはチューニングできない | 実務に落とし込むにはハードルが高い | 社内講師のアサインや準備が負担 |
| **コスト** | △ | △ | 〇 | 〇 |

⇒今回は集合研修を選択。なぜなら、共通認識をそろえながらも新しいリーダーシップの在り方を模索するため自社の課題を踏まえた研修設計が必要なため。